

目次

對米英開戰理由五ヶ條	陸海軍に優渥なる勅語	時局に關する詔書	
宣戰布告に關する詔書	今や國運隆替の秋起て一億國民	日本帝國政府聲明	四
日米英開戰に當り	不敗の歴史を護りて榮ある明日を建設せん	滿洲帝國政府聲明	六
佈告	四千萬國民聖戰ヲ扶翼スベシ	東條總理大臣	八
滿洲國の責務今こそ日本にこたえん	日米交渉折衝の經緯	張國務總理大臣	一〇
わが勝利を確信	日獨伊三國新協定、日泰攻守同盟	張國務總理大臣	二〇
聖戰今こそ完遂	帝國政府の對米通牒	武部總務長官	二五
岐路に立つた泰の實相	乾坤一擲の爭覇戰	日本外務省	二八
大東亞戰爭綜合戰果		外務省	三三
		鳥越新一	三五
		張協和會長	三七
		大本營陸海軍部	三六

對米英開戰理由五ヶ條

堂々と中外に宣明

一、日米交渉におけるアメリカの原則は架空の理念にして多邊的不可侵條約による舊態依然たる構想で、東亞の實情と遊離してゐる。

一、英米の經濟壓迫は武力にも増して熾烈極まるものである。

一、英米の帝國主義的擗取が東亞の禍根であつて佛印の共同歩調案亦その野望の暴露に過ぎぬ。

一、援蔣行爲の依然たる繼續は斷じて、默視し得ず。

一、英米が敵性諸國家群と通謀、日支相戦はしめんとする策動を排す。